

広報 わかさ

Public-relations Wakasa



お兄ちゃんは力持ち

三方中学校岬分校中学生保育実習
(岬保育所)

9
2008
No. 41

芸術、文化の薫り高い環境 のまち・若狭町をめざして



7月30日「芸術、文化の薫り高いまち・若狭町」をテーマとした「若狭町環境・芸術・文化振興ビジョン」が、町長に答申されました。

これは、昨年9月に、若狭町文化振興ビジョン策定委員会（吉田久吉委員長）が、「町の文化の充実と向上を目指した文化振興の基本的な方向と、具体的な施策について」町長の諮詢を受け、文化遺産や伝統行事などの保存、活用方法や新しい文化の創造などの具体策について取りまとめたものです。

ビジョン作成にあたっては、各集落や文化関係の団体をはじめとした皆様の協力により、伝統行事などについての調査、ご意見、ご要望をいただき作成しました。全国的に見ても例がない「環境・芸術・文化振興ビジョン」の内容を委員の方々のご意見とともに紹介します。

若狭町環境・芸術・文化振興ビジョン策定

芸術文化と関わりの深い環境を盛り込み
集落の伝統行事を調査、掲載した
独自の「環境・芸術・文化振興ビジョン」を策定



吉田久吉さん

環境にも触れたビジョンの具体的実施を望みます

「若狭町のすばらしい自然は、わたしたちの文化にも深く影響を与えています。文化を大切にするためには、その基盤でもある自然環境、歴史環境を大切にしなければなりません」「全国にも例がない『環境・芸術・文化振興ビジョン』は手作りで具体的。このビジョンを多くの皆さんに知っていただき、みんなの力で、出来ることから実現していきたいものです」と目を輝かすのは、前若狭町文化協会会长で策定委員会委員長の吉田久吉さん（北前川）。

策定委員会では、環境保全などを盛り込んだビジョンに沿って「実施計画を策定し具体的に文化事業を進める」よう答申しました。

「若狭町のすばらしい自然は、わたしたちの文化にも深く影響を与えています。文化を大切にするためには、その基盤でもある自然環境、歴史環境を大切にしなければなりません」「全国にも例がない『環境・芸術・文化振興ビジョン』は手作りで具体的。このビジョンを多くの皆さんに知っていただき、みんなの

パレア若狭を文化活動の拠点に

「このビジョンを読むと、三方・上中地域のことが良く分かります。融合につながりますね」と話すのは、鳥羽小学校校長で策定委員会副委員長を務めた橋本須美子さん（無悪）。橋本さんは「パレア若狭でのコンサートや学校訪問コンサートなどにより、子どもたちの文化への意識は高まっています。音楽ホールでの小中学校音楽会では、子ど

もたちは発表することの喜びを感じています」「今後は嶺南地域や滋賀県との連携を深めて、新しい文化創造の拠点としてパレア若狭に期待します」と話してくれました。

答申では「パレア若狭を中心に町内外の文化施設との連携を強め、新しい芸術文化の創造をめざすこと」としています。



橋本須美子さん



山本和男さん

すばらしい伝統文化を後世に伝えることが大切

若狭町には、各地域に古くから伝わる伝統行事や伝統芸能がたくさんありますが、後継者の育成が課題となっています。

策定委員の一人で、若狭町文化財保護審議会会長の山本和男さん（田井野）は「若狭町にはすばらしい伝統文化がありますが、老齢化が進み体力的に厳しく、また、若い人が少ない状況です。子どもたちに伝統文化

を継承していく活動が大切だと思います。地域の良さを再認識するためにも大変重要ではないでしょうか」と話していました。

委員会では、このような意見が多数出され、答申の中でも「早期に若狭町伝統文化保存協会（仮称）を設置するなどの方法で、伝統芸能等の保存と継承に取り組まれたい」としています。

河合健一さん



すばらしい文化を観光や産業に活かすべき

若狭町の縄文博物館、歴史文化館、熊川宿などは、国レベルにおいても貴重な財産となっています。観光立町を目指す若狭町においては、これらの文化資源は有効な観光・産業資源でもあります。

策定委員の一人で若狭熊川宿まちづくり特別委員会会長の河合健一さん（熊川）は、自らの経験から「熊川の町並みは文化

遺産です。この文化遺産を保存する活動は、今や多くの観光客を惹きつけています。今後は、地域の皆さんとともに話し合い、熊川宿をより活かす活動に取り組み、若狭町を良くしていきたいです」と話していました。

答申では「若狭町のすばらしい文化を観光と産業に活かすことを提唱しています。

文化でまちづくり 若狭町環境・芸術・文化振興ビジョン

若狭町環境・芸術・文化振興ビジョン基本理念

「芸術・文化の薫り高い環境のまち・若狭町」の構築



大切な自然文化遺産を保護・保存し継承するとともに、新しい芸術文化の創造によって、新しいまちづくりを行う。

豊かな自然が存在

優れた歴史的文化遺産が存在

独自の芸術文化の創造活動が存在

町の芸術・文化振興を図るには、豊かな自然と共生する
循環型社会の構築が基本

自然環境との共存

①自然の再生

若狭町は「若狭町環境宣言」を行い、若狭町の環境の保全と創造についての基本理念を定めました。今後は豊かな自然を再生し、文化的景観を保護、活用します。

【具体策】

山林環境整備による自然景観の保護
自然に親しむ芸術・文化野外イベント
舟小屋、古墳など文化的景観の保全 など

②自然との共生

「三方五湖」、「瓜割の滝」などの美しい自然、多くの文化遺産を持つ若狭町の芸術、文化の創造活動を、自然との共生による循環型社会の構築を担うものとして発信します。

【具体策】

三方五湖景観保全・活用
名水「瓜割の滝」の景観保全
清流「北川」の景観保全 など

歴史と文化の継承

①文化遺産を活かす

縄文文化が語る「自然との共生による循環型社会」、古墳群や熊川宿が語る「豊かな食や人の交流による繁栄」など、若狭町の歴史と文化を深く理解し、しっかりと継承し広めていきます。

【具体策】

古墳保存整備管理計画策定
仏像など有形文化財調査
縄文博物館、歴史文化館の充実
熊川宿の保存と活用 など

②伝統文化を活かす

自然遺産や文化遺産を、現代の文化資産として活かしていくなければなりません。伝統文化や新しい芸術創造活動と文化施設を組み合わせることによって、観光や産業の資源として活用し豊かなまちづくりを進めます。

【具体策】

伝統的ものづくり職人の育成
伝統料理の伝承
大学文化活動の合宿誘致 など

芸術、文化活動の創造

①芸術、文化ふれあい施設の活用

パレア若狭を拠点に、各文化施設・各公民館との連携を強め、若狭町や嶺南地域の芸術、文化活動の中心拠点としての役割を果たしていきます。

【具体策】

質の高い芸術文化事業の開催
子どもの豊かな発達を支援する読書活動の推進
公民館の芸術文化サークル育成 など

②芸術、文化活動の担い手の育成

子どもたちや青年層が伝統文化に関わる体制づくりを推進し、次世代に継承していきます。
また、公民館や学校と連携して、文化の担い手育成に積極的に取り組みます。

【具体策】

伝統文化保存協会（仮称）創設
文化団体の育成 など

③次代に向けた文化行政の推進

豊かな芸術、文化活動を継続、展開するため、民間活力の導入による、芸術、文化の振興を図ります。

【具体策】

芸術文化振興事業団（仮称）設立 など

芸術、文化情報の共有

①芸術、文化交流の促進

地域間交流、世代間交流、施設間交流を活発に促進します。

【具体策】

姉妹都市交流などとの幅広い文化交流の推進
伝統文化保存を継承するための世代間交流の推進
町内外の文化施設との交流推進 など

②芸術、文化情報の発進

文化情報誌、CATV やインターネットを活用し、情報の発信を図ります。

また、住民の意見を各文化事業等の企画に十分反映させます。

【具体策】

文化情報誌発刊
文化出版助成事業 など





福井ミラクルエレファンツ

平谷友佑選手

※1 独立リーグとは
日本プロ野球組織（NPB）とは区別された
地域密着型のプロ野球リーグ。国内には
BCリーグのほかに、四国・九州アイラン
ドリーグがある。

※2 BCリーグとは
野球を通じて力いっぱい挑戦するという
意。“Baseball Challenge”から名づけ
られた。北信越地区の6球団で構成され、
リーグ戦を展開。



2007年、北信越地区の球団による独立リーグ^{※1}「BCリーグ」^{※2}が発足しました。

そして2008年、福井県民球団「福井ミラクルエレファンツ」が結成され、BCリーグに加わりました。

この福井ミラクルエレファンツで、左の即戦力投手として活躍している選手がいます。若狭町市場出身の平谷友佑選手です。

平谷選手は元来のスポーツ好きで、どんなスポーツにも真剣にうちこみ、中でも熱中したのが「野球」でした。

上中学校時代には、打撃練習でグラウンドの外まで飛ばすほどのパワーと能力を持ち合わせ、県大会にも出場しました。

上中学校を卒業した平谷選手は、県内の強豪校からの誘いを受けながらも、地元若狭高校に進学。持ち前の野球センスに加え、鍛え上げた体で球速は135キロまでに達しました。甲子園のマウンドを踏むことはできませんでしたが、野球への強い思いを捨てきれず、新規結成されるミラクルエレファンツのトライアウト（入団試験）に参加しました。

トライアウトでは、持ち前の速球をグイグイと投げ込むと、藤田平監督の目に留まり、見事合格。晴れてミラクルエレファンツの一員に。ミラクルエレファンツでは、藤田監督、天野コーチの指導のもと練習に励み、6月には頭角を現し、7月5日の対新潟アルビレックスBC戦で初勝利をあげました。

BCリーグに所属する選手はプロ契約を結び試合をするプロ野球選手ですが、選手たちが目指すものは、やはり日本プロ野球組織（NPB）のプロ野球選手。平谷選手も同じくNPB選手になるために、そしてチームが勝利し地域が盛り上がるるために一つでも多くの勝ち星が得られるように努力しています。

がんばれ平谷選手！がんばれエレファンツ！

ライバルは自分自身

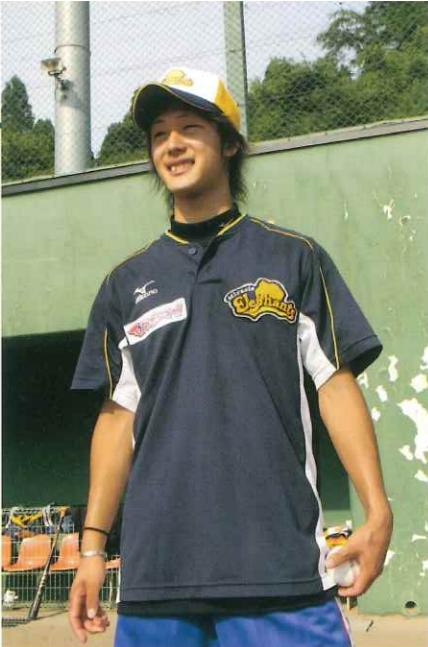
小学生の時に軽いノリで始めた野球。いつしかその野球が自分の将来を決めるものになった。野球を続けてこられた、そして続けようとしたのはなぜか、平谷選手は「野球を失いかけて気づきました。やっぱり自分には野球しかない…と。野球を続けてきた中での最大のライバルは自分自身です。自分の気持ちに妥協したら絶対ダメだと思ってます」と力強く語ると、「自分のレベルがどこまで通用するか挑戦してみたかった」とプロ野球選手となった理由を話してくれました。



平谷選手を応援する後援会の皆さん

そんな平谷選手に力強い味方ができました。地元市場区が後援会を結成したのです。後援会長を務める雨森徹さんは「友佑には若狭町初のNPB選手になって活躍してほしい。後援会でも看板を作ったり、試合に応援に行ったりして友佑を応援したい」と話していました。平谷選手は「皆さんの応援で、頑張らなくてはという気持ちが沸きます。大変ありがとうございます」と感謝し、「自分自身もエレファンツもスタートしたばかりですが、感動や喜びを伝えられるように頑張っていきますので、ぜひ一度球場に足を運んでいただければと思います」と話してくれました。

最後に「自分の最終目標はNPB選手になることです」と目を輝かせていました。

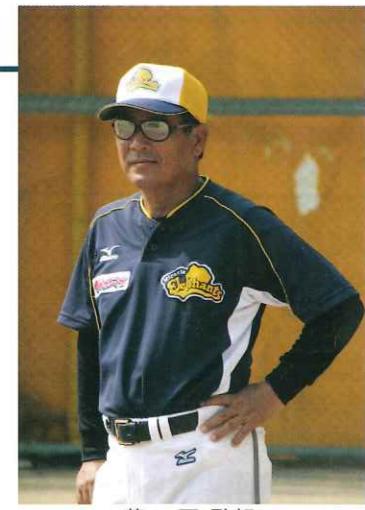


平谷友佑

Yusuke Hiratani

プロフィール

1989年12月31日生まれ B型
若狭町市場出身
身長 178cm 体重 74kg
左投げ左打ち
好きな球団 / 阪神タイガース
目標選手 / ダルビッシュ投手
好きなタレント / 上戸 彩



藤田 平 監督

NPB選手の素材は充分

「できるだけ多くの選手をNPBへ送り出したい」そんな気持ちでミラクルエレファンツ監督に就任したのは、阪神タイガースで活躍し、同球団の監督も務めた藤田平監督。

藤田監督は平谷選手について「昨年のトライアウトで初めて見て、一番動きが良く、将来性があると思いました。彼はスク

リューボールをはじめ多彩な変化球を持っています。あと求めるものは球速アップ。そのためには練習などで心も体も一回り大きくなること」と話し、「彼には、NPBへ行ってローテーションに入るくらいの選手になってほしい。それだけの素質を十分持っている」と期待を寄せていました。

福井ミラクルエレファンツを応援しよう！

BCリーグの2008年シーズン【エレファンツ公式戦日程】※8月22日～福井主催ゲームのみ掲載
もいよいよ終盤を迎えました。

開催日	対戦相手	球場	時間	開催日	対戦相手	球場	時間
8/22(金)	富山	三国	18:00～	9/5(金)	石川	福井県営	18:00～
8/23(土)	新潟	美浜	13:00～	9/6(土)	信濃	敦賀	13:00～
8/24(日)	新潟	福井県営	18:00～	9/7(日)	信濃	三国	13:00～
8/30(土)	群馬	福井県営	18:00～	9/12(金)	石川	福井市営	18:00～
8/31(日)	群馬	美浜	13:00～	9/13(土)	石川	美浜	13:00～
				9/21(日)	富山	敦賀	13:00～



地震発生！ その時あなたはどうする？

60年前の1948年6月、福井でも震度6(現在の震度階級では震度7)を超える大地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。

そして今年、東北地方で震度6を超える地震が2回発生し、尊い命と貴重な財産を失い、改めて災害の恐ろしさを認識させられました。

環太平洋造山帯に位置する日本は、全国のいたるところに、大地震の引き金となる活断層が分布し、若狭町も例外ではありません。

災害は、予測不能で突然発生し、防ぐことはできません。しかし、一人ひとりの心がけで被害を最小限に抑えることは可能です。

日ごろから災害に対する準備や家族での話し合い、万一の事態に備えておくことが大切です。



新潟県中越沖地震

若狭町にも活断層が存在します

若狭町には2つの活断層が走っています。

1つは、熊川付近から三方湖東側を通り日向湖付近まで南北方向約26km伸びる「三方断層」。もう一つは滋賀県高島市角川付近から野木地区付近までの東南東方向に約12km伸びる「熊川断層」です。

両断層とも活動周期が4千年を超える断層で頻繁な活動はありませんが、油断は禁物です。

台風や集中豪雨などの災害は

気象警報などが発令され、事前に警戒することができるため被害を抑制することができます。しかし、これらと違い突然襲ってくるのが地震です。

いつ、どこで発生するかは、地震研究が進んだ今日でもわかりません。断層が存在するということは少なくとも地震の可能性があるということで、若狭町で大きな地震がないとは言い切れないのです。



家族防災会議を開きましょう！

突然襲ってくる地震に備えて

①危険箇所の確認

家具、照明、ガラス、ガスなどの危険物・危険箇所を確認し合い、日ごろから点検しておきましょう。故障や不具合があれば修理しておきましょう。

また、外に電柱、鉄塔などの危険物がない出口を前もって確認しておきましょう。

②誰が何を持ち出すか確認

非常持ち出し品を持ち出す場合、1人で全てを持ち出さずに家族で分担して持ち出すようにしておき、素早く避難できるようにしておきましょう。

分担しておいた人が自宅にいない時に地震が発生した場合は、最低限どれを持ち出すか決めておきましょう。

③連絡場所・集合場所の確認

地震が発生した際に家族が慌てず、落ち着いて行動できるよう緊急時の連絡方法を普段から話し合っておきましょう。

家族が揃っている時、揃っていない時に地震が発生した場合のそれぞれの対処方法など、いろんなパターンを考えて相談しておきましょう。



家族防災会議で避難所を確認

④避難所・避難場所の確認

学校、勤務先などのそれぞれの避難場所を把握しておきましょう。家族がどこに避難しているか分からないと、安否の確認もとれません。

家族が生活する範囲すべての避難所を事前に把握しておきましょう。

避難場所の確認

地震や洪水などの水害が発生し、避難勧告や家屋倒壊の危険性が高い場合などには、指定の避難所に避難してください。

もし家族が離ればなれになつたら、その時のことを見て、避難する場所を家族で決めておくことが重要です。

指定の避難所は右表のとおりですが、災害の発生場所などにより、避難所への経路が危険な場合があります。その場合は、安全な経路で一番近い避難所に避難してください。

また、災害発生時は電話がかかりにくい場合があります。家族などとの連絡は音声伝言板「災害用伝言ダイヤル171」を利用しましょう。

伝言ダイヤル171の利用方法

【録音の方法】

- ① 171をダイヤルする
- ② 1をダイヤルする
- ③ 自分の電話番号を市外局番からダイヤルする
- ④ 伝言を伝える

【再生の方法】

- ① 171をダイヤルする
- ② 2をダイヤルする
- ③ 確認したい人の電話番号を市外局番からダイヤルする

非常持出品の準備

災害が発生し避難した場合に備えて、生活に必要な最低限の物品を準備しておきましょう。

非常持ち出し袋は、家族全員が分かる、いつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。

持出品チェックリスト

- ▶ □ ポペットボトル（水）
- ▶ □ 食料・救急・安全口レトルト食品、缶詰
- ▶ □ 日用品口粉ミルク・哺乳瓶
- ▶ □ 口ナイフ
- ▶ □ 口携帯コンロ
- ▶ □ 口救急医療品、常備薬
- ▶ □ 口防災ズキン、帽子
- ▶ □ 口底の丈夫な靴

若狭町避難所一覧表

■三方地域

避難場所	対象集落
みそみ小学校	倉見、白屋、成願寺、上野、能登野、横渡、井崎、高岸、岩屋、田上、東黒田
B&G海洋センター	
明倫小学校	相田、藤井、南前川
明倫保育所	
三方公民館	北前川、佐古、田名、向笠、鳥浜、館川、三方
労働者体育館	
気山小学校	気山、上瀬
県立美方高等学校	
梅の里小学校	成出、田井野、梅ヶ原、田立、別庄、世久津、伊良積、北庄、世久見、食見
町営ホテル水月花	海山、塩坂越、遊子
岬保育所	小川
海蔵院	
岬小学校	神子、常神

※上記避難所のほか、各集落の公民館にも避難できます。

■上中地域

避難場所	対象集落
上中中学校	上中地域全域
歴史文化館	
上中体育馆	
鳥羽小学校	鳥羽地区
鳥羽公民館	
とばつ子保育園	
瓜生小学校	瓜生地区
瓜生公民館	
わかば保育園	
熊川小学校	熊川地区
熊川公民館	
三宅小学校	三宅地区
三宅公民館	
三宅保育所	
野木小学校	野木地区
野木公民館	
ののはな保育園	

※上記避難所のほか、各集落の公民館にも避難できます。

災害が発生したら

グラッっときたら

①まず、身の安全を

- ・テーブルやベッドなど頑丈な家具の下に身を隠す
- ・座布団やクッションで頭をカバーする
- ・四方を柱で囲まれたトイレなどは安全
- ・玄関などの扉を開けて非常脱出口を確保
- ・慌てて外へ飛び出さず、周囲の状況をよく確かめ脱出

②火災を防ぐ

- ・使用中のガス器具、ストーブなどは、すばやく消化 「火を消せ！」と大声で叫ぶと良い
- ・出火したら、大声で隣近所に声を掛け初期消火

③堀ぎわ、崖や川べりは危険

- ・狭い路地や堀ぎわは、瓦やブロックなどの落下、倒壊の恐れがあるので、これらの場所には近づかない
- ・川べりは、崩れ易くなっている場合があるので近づかない



崖や川べりは危険

④避難は徒歩で、持ち物は最小限に

- ・徒歩で避難し、携帯品は必要なもののみにしてリュックなどで背負う
- ・自動車を運転しているときは、道路左に停車し、エンジンを止め、キーを付けたまま避難する

⑤協力し合い救出活動

- ・家屋や落下物の下敷きになった人がいたら地域のみんなで救出活動を行う
- ・軽いケガなどは、協力し合い応急処置する

⑥正確な情報を入手

- ・テレビ、ラジオなどの情報を入手して、誤情報に注意する
- ・役場や消防署、警察からの情報は聞く

若狭町では、地震や水害などの災害が発生し、避難などが必要となつた場合、

音声告知放送
ケーブルテレビ行政チャンネル
若狭町ホームページ

で、被害状況、避難場所などをお知らせします。

ホームページは、携帯電話サイトからでも閲覧できますので、町外にいる場合でも情報を把握することができます。



携帯サイト QR コード

熊川宿防災計画策定中

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている熊川宿。この町並みを災害からまもるため、現在「伝建地区若狭町熊川宿の防災まちづくり計画」を策定しています。

現在、地元住民に専門家や消防関係者を交えた策定委員会を開催するとともに、住民によるワークショップを開催しています。

ワークショップでは、住民がまちを歩き、危険箇所をチェックし、災害が発生した場合の迅速かつ安全な対応方法などを検討しています。



地図に危険箇所を記入するワークショップ参加者

まちの話題

WAKASA TOWN NEWS

若狭テクノパーク完成

若狭テクノパーク竣工
完成記念グラウンドゴルフ大会（7/17）

若狭中核工業団地に整備していました若狭テクノパークが完成し、完成式典が行われました。

若狭テクノパークは24ホールのグラウンドゴルフコースと多目的広場などを有しています。式典には、関係者ら約80人が参加し、完成を祝いました。

また同日、完成を記念し行われた「若狭テクノパークグラウンドゴルフ大会」には、町内から約300人が参加しました。

参加者らは、待望のグラウンドゴルフ場の完成を喜び、プレーを楽しみました。



大会結果	
Aコース	Bコース
男子 優勝：松岡壹代治	男子 優勝：岡野良平
次勝：岩谷 登	次勝：武田 覚
3位：左近龍郎	3位：石地健二
女子 優勝：井ノ口千代香	女子 優勝：藤本ふさゑ
次勝：兼松昌子	次勝：吉田敦子
3位：辻本 靖	3位：橋本うたの

剣道全国大会へ

全国大会出場報告（7/22）

向笠剣道教室に所属する池田佳樹くん（三方小6年・向笠）と河原悠真くん（三方小6年・向笠）が、9月14日から大阪で開催される全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会への出場を決めました。

2人は、福井県少年剣道練成大会に出場し、個人戦で、池田くんが優勝、河原くんが次勝の好成績を収め、全国大会の切符を手にしました。

出場を決め、役場を訪れた2人は「全国大会でも頑張りたい」と活躍を誓っていました。



活躍を誓う河原くんと池田くん

若狭町は美しく、楽しい

米国中高校生短期滞在プログラム（8/1～8/4）

アメリカカリフォルニア州の中高生ら30人が若狭町を訪れ、干物づくりや名水まつりなどを体験しました。

日本の文化と生活風習を体験し、国際理解を深めるために行われたもので、参加者らは若狭町のすばらしい文化と自然に触れていました。

8月4日には、美方高校の生徒8人と、レイククルーズに乗船。生徒たちは、すぐに打ち解けあい笑顔で交流していました。



レイククルーズで交流する生徒たち



親子ふれあいました

パレア若狭親子陶芸教室・親子パンづくり教室（8/3）

パレア若狭で親子パンづくり教室が行われ、ハムロールパンを作りました。

パン生地を50gずつに切り分ける作業では、重かったり軽かったり、お母さんの手を借りて調整していました。焼きあがったパンは、ふっくらと香ばしく、参加者らは笑顔で食べていました。また、パレア若狭創作スタジオでは親子陶芸教室が行われ、ネームプレートを作りました。

カラフルな粘土を使用して、だ円形やハートマークなど、子どもならではの発想で仕上げ、約1か月後の焼き上がりを楽しみにしていました。



陶芸を楽しむ親子

プロから学んでナイスショット

小中学生ゴルフ教室（8/4、6、8、11）

子どもたちにゴルフの楽しさを知ってもらおうと「小中学生ゴルフ教室」がわかさカントリー俱楽部で行われました。

教室には、町内の小中学生13人が参加し、同俱楽部所属の井出努プロや町ゴルフ協会の前田勉さんらが子どもたちを指導しました。

ゴルフ用具は、子ども用に作られた、柔らかく大きいボールとプラスチック製のクラブを使用。

子どもたちは、練習場でスイングの基本などを学んだ後、実際のコースへ出てプレーしました。



スイングを教わる参加者

夏の夕暮れ 錚の音がこだま

選択無形民俗文化財 六斎念佛（8/13、14、15）

国の選択無形民俗文化財の六斎念佛が瓜生と三宅で行われました。

六斎念佛は、踊り念佛の一種で、錚を叩いて唱える念佛に合わせ、手に持った太鼓を打ちながら踊る念佛で、江戸時代から伝わるお盆の伝統行事です。

三宅の六斎念佛は、小学生から壮年まで約70人が4班に分かれ各戸で念佛を唱えます。

錚の音にあわせ子どもたちが踊りだすと、家人は手を合わせて念佛を見守りながら、先祖を供養していました。



六斎念佛（三宅）